

カーボンニュートラル社会実現における
炭素貯蔵量可視化ラベルについて

Kankyu Consulting Co., Ltd.

森 紗和子

26th

WOOD CHANGE ! ODATE

資料利用に際しての注意とお願い

本資料は2024年7月29日に実施された第26回WOOD CHANGE ODATE
「カーボンニュートラル社会実現における 炭素貯蔵量可視化ラベルについて」のスライドからの抜粋
です。

当日プレゼンテーションに使用していたスライドの「弊社について」内の一部、および「木造木質推
進の現状」、「ラベル企画について」の動画につきましては非公開となっております。
資料が必要な方は個別対応とさせていただきますので、弊社まで大館市担当者様経由にてお問合せく
ださい。（お問い合わせ先は資料巻末に記載しております）

また資料内のデータの著作権は出典記載がある場合は出典先に帰属します。それ以外は弊社に著作権
が帰属いたしますので、転載の際は出典元として明記いただきますようお願いいたします。

Kankyu Consulting
森 紗和子

1

弊社について

2

Portfolio

3

木造木質推進の現状について

4

ラベル企画について

INDEX



弊社は「**ことば**を編む」、「未来につながる**本質**を見出す」、「思いや本質を**カタチ**にする」をお手伝いをする
コンサルティング会社です

ラベルでみなさんの木を使った社会や環境への**貢献**を
統一的に可視化しましょう

ラベルガイドライン策定（8月）後、
9月からパイロット企画を皮切りに**運用開始**します

開始前に一般財団法人 日本ウッドデザイン協会にて**説明会実施**

Kankyu Consulting Co.,Ltd

会社名

Kankyu Consulting Co.,Ltd
株式会社 環究コンサルティング

所在地

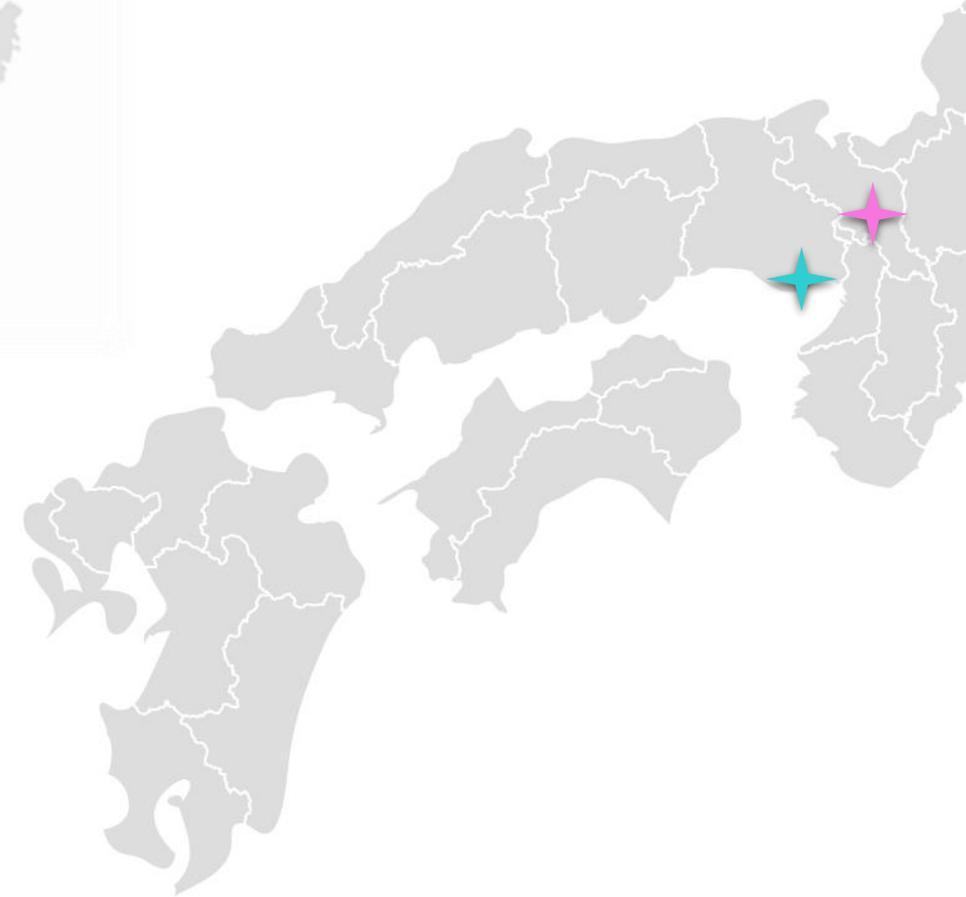
兵庫県芦屋市山手町

事業体制

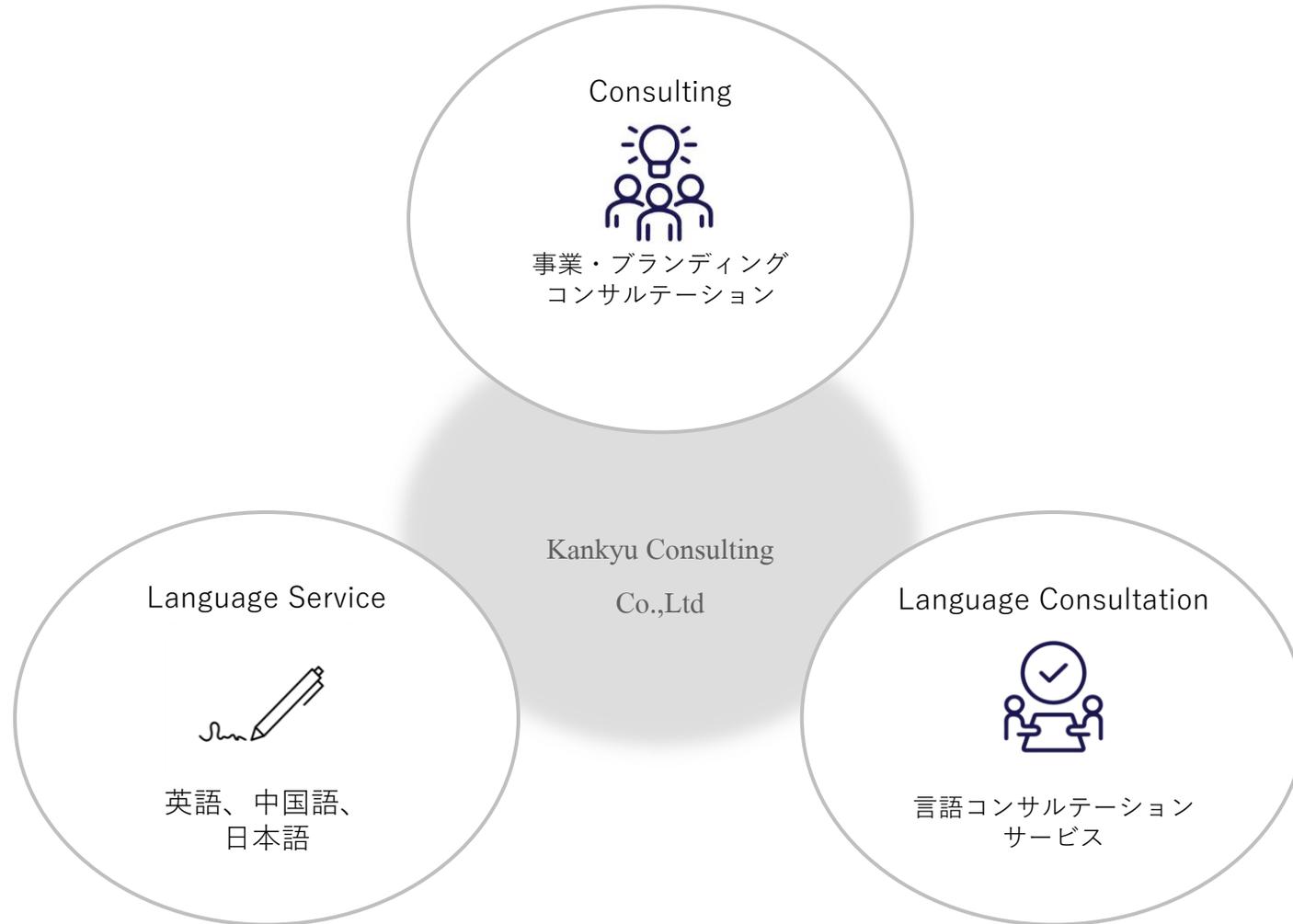
コンサルタント事業
森 紗和子 + 調査/分析担当

設立

2011年11月



“ことば”を基軸にした事業を展開



#CSV (Creating Shared Value/共通価値創造)

#木造木質化推進

#Sustainability (サステナビリティ)

#CarbonNeutral (カーボンニュートラル)

#LCA(ライフサイクルカーボンアセスメント)

#環境経済学+国際関係学

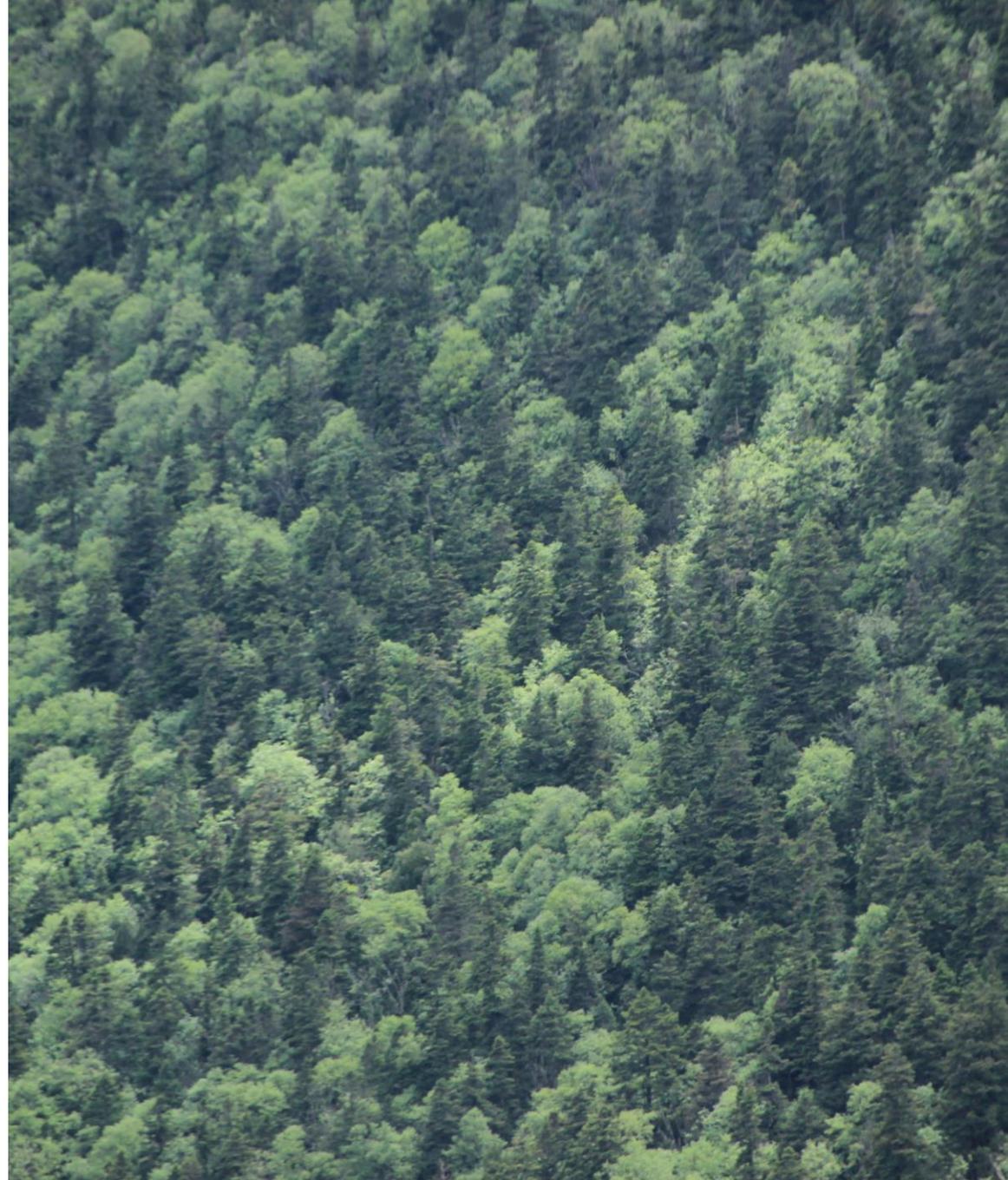
#Impact-Weighted Accounts (インパクト荷重会計)

#Branding (ブランディング)

#MassiveTransformativePurpose(パーパス) 策定・経営

#AmbidexterousManagement (両利きの経営)

Generative AI (生成AI)



一般社団法人日本ウッドデザイン協会調査研究部会からのご依頼
林野庁の**補助金事業**として本事業を実施



課題

木材利用に関連するサイトの**情報の正確さ**
一般の人が使いやすい程度の専門性 = **中間的な領域**の網羅



回答

木を活かしたい、使いたい方々が木に関する知識を
直感的に得られる **データベース／データポータル構築**

情報の正確さを確保しながら、専門的な領域を含む情報を
直感的に理解しやすい環境を実現



担当領域

外部コンサルタントとして**コンセプト・理論構築**と
制作ディレクションを担当
(ウェブサイト構築とデザインを担当するクリエイターと協業)





木や木材に関する調査・研究が集まるデータベース

WOOD DESIGN LIBRARY

木や森林が大きく注目を集めている今、以前にも増して木や木材に関する正しい情報が求められるようになりました。本データベースでは、必要とする情報にアクセスしやすい環境を提供しています。



官邸主導による「花粉症に関する関係閣僚会議決定」に基づく補正予算を原資とした
国交省・林野庁の**補助金事業**として本事業を実施



課題

国産木の活用が、**脱炭素社会の実現**や花粉症対策に貢献していることを**国民に広報**し、**国産材利用を拡大**したい



回答

住宅における貢献（国産材使用料や炭素貯蓄量）を**統一的**に示し、
分かりやすく、直感的に伝える**共通可視化システム**

企業による貢献行動を統一的に見える化することで国産材の利用拡大の一助とする



担当領域

ウッドデザイン協会と協業として**外部コンサル**として
国産木材活用住宅ラベルの**デザインとレイアウト**、
これに含まれる**ロゴマーク、フォントなどのデザイン提供**
（弊社は企画・コンセプトなど担当、グラフィックデザイナーと協業）

国産木材活用住宅ラベル



JAPAN WOOD LABEL

カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。

国産木材活用レベル	スギの使用量
Level (1) ☆☆☆	約〇〇本分

建物名称：〇〇邸
住宅生産者名：〇〇工務店
表示年月日：2024.〇.〇

国産木材活用住宅ラベル協議会の
ガイドラインに基づき表示

シンプル版（必須項目のみ）

国産木材活用住宅ラベル



JAPAN WOOD LABEL

カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。

〇〇産材の家

国産木材活用レベル	スギ・ヒノキの使用量
Level 3 ☆☆☆	スギの本数 約〇〇本分 ヒノキの本数 約〇〇本分
 住宅の炭素貯蔵量 (二酸化炭素換算) 木材の使用により、次の量 の炭素を貯蔵しています。	木材全体の貯蔵量 〇〇t-CO ₂ 国産木材のみの貯蔵量 〇〇t-CO ₂

備考：
本住宅は第三者機関により適切に管理されていると認められた森林で産出された認証木材を活用しています。
本住宅は第三者機関により適切に管理されていると認められた森林で産出された認証木材を活用しています。

 水や森林に関する取り組みについてはこちら	 木材の炭素貯蔵についてはこちら
--	---

建物名称：〇〇邸 / 住宅生産者名：〇〇工務店
表示年月日：2024.〇.〇

国産木材活用住宅ラベル協議会の
ガイドラインに基づき表示

フル版（全項目表示）

目的

カーボンニュートラルの実現とスギの伐採促進による花粉症問題の解決

対象

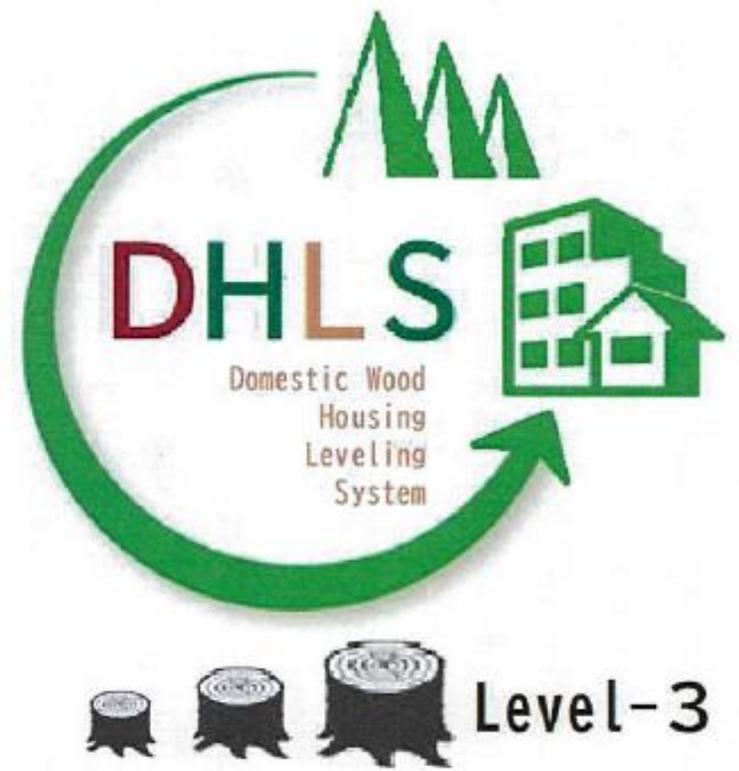
国産材を使っている住宅

配付方法

ウェブサイトにて必要情報を入力
情報量に応じてデザインが自動生成

多摩産材の家

花粉症対策やカーボンニュートラルに貢献しています！



使用しているスギ材の詳細は次のとおりです。

- ・伐採地：〇〇県
- ・使用量：20 m³
- ・備考：すべてに〇〇県認証材を使用

国産木材活用住宅ラベル



JAPAN WOOD LABEL

カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。

国産木材活用レベル	スギの使用量
Level (1) ☆☆☆	約〇〇本分

 住宅の炭素貯蔵量 (二酸化炭素換算)	木材全体の貯蔵量	〇〇t-CO ₂
 木材の使用により、次の量の炭素を貯蔵しています。	国産木材のみの貯蔵量	〇〇t-CO ₂

備考：

本住宅は第三者機関により適切に管理されていると認められた森林で産出された認証木材を活用しています。



建物名称：〇〇邸 / 住宅生産者名：〇〇工務店
表示年月日：2024.〇.〇

国産木材活用住宅ラベル協会の
ガイドラインに基づき表示

スギ等の国産木材を活用した住宅の表示制度ができました

 検索

国産木材活用住宅ラベル

お問い合わせ リンク集 サイトマップ

ホーム 国産木材活用住宅ラベルについて 国産木材を活用する意義 国産木材活用のイメージと効果 ラベルの活用実績 届出企業 協議会について よくある質問 (FAQ)



このホームページでは、カーボンニュートラルの実現、スギの伐採促進による花粉症問題の解決に寄与するため、国産木材を活用する住宅を表示する「国産木材活用住宅ラベル」について紹介します。



新着情報

一覧はこちら

2024/02/07
国産木材活用住宅ラベルのホームページを開発いたしました。

ログイン

メールアドレス :

パスワード :

新規届出

ログイン

パスワードを忘れてしまったら
管理内容の更新はこちら

規程・ガイドライン

- 国産木材活用住宅ラベル使用規程 (PDF)
- 国産木材活用住宅ラベル表示に関するガイドライン (PDF)
- 国産木材活用住宅ラベル計算シート (Excel)

パンフレット

- 国産木材活用住宅ラベルパンフレット (PDF)

[ホーム](#)
[国産木材活用住宅ラベルについて](#)
[国産木材を活用する意義](#)
[国産木材活用のイメージと効果](#)
[ラベルの活用実績](#)
[届出企業](#)
[協議会について](#)

[お問い合わせ](#)
[リンク集](#)
[サイトマップ](#)
[個人情報取り扱いについて](#)
[サイトポリシー](#)

国土交通省
 林野庁

事業者情報を入力すれば
無料で利用可能です



1

弊社について

2

Portfolio

3

木造木質推進の現状について

4

ラベル企画について

INDEX

1

弊社について

2

Portfolio

3

木造木質推進の現状について

4

ラベル企画について

INDEX



Wood Carbon Labelと
Japan Wood Labelって何ですか？

Japan Wood Label



Japan Wood Label(以下、「JWL」)は、日本の木を使っている建築、空間、製品を判別するためのマークです。

Wood Carbon Label

Wood Carbon Label(以下、「WCL」)は、木を使った建築、空間、製品がどのくらいの炭素を貯めているのかを知ってもらうためのマークです。



Japan Wood Label



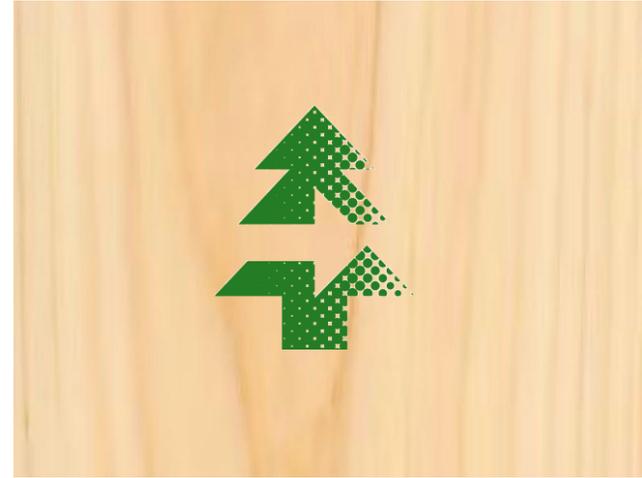
JAPAN
WOOD
LABEL

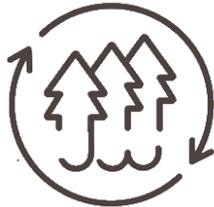
Wood Carbon Label



一般社団法人 ウッドデザイン協会は2024年5月、林野庁よりJapan Wood Label及びWood Carbon Labelの管理団体として認定を受け、近日中に運用管理を開始します。

現在、住宅だけにとどまらず、木材を活用したオフィス、商業施設、公共施設などといった建築物や空間、木材を使った家具や小物といった製品などでもラベルを使っていただく準備を進めています。





JAPAN
WOOD
LABEL



JAPAN
WOOD
LABEL



事業者

**社会や環境への貢献の
“事業価値化”**

事業を通じた
社会や環境への貢献を
事業価値にしたい

**サステナビリティ購買の指針
が必要**

環境問題や社会課題の
解決に貢献する製品を
選びたいけど
どれを選べばよいのかわからない



消費者



事業者

事業を通じた
社会や環境への貢献を
消費者に知ってもらうことが
最初のステップ

…ですが、それ伝わってますか？

炭素貯蔵量可視化をとりまく現状

2021年 林野庁策定

「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」



それぞれが**独自の方法で表出**している



とっとりカーボンストレージ認証

「非住宅」分野で、県産材を活用した木造化・内外装木質化について建築主に対し、県産材の使用による二酸化炭素固定量をガイドラインに基づき評価・認証



炭素貯蔵量を表示する
流山市立おおぐろの森中学校の校内掲示



MOCX Green Project (三井ホーム) による
炭素固着量の可視化サイト
(https://www.mitsuihome.co.jp/company/mocx_green_project/)



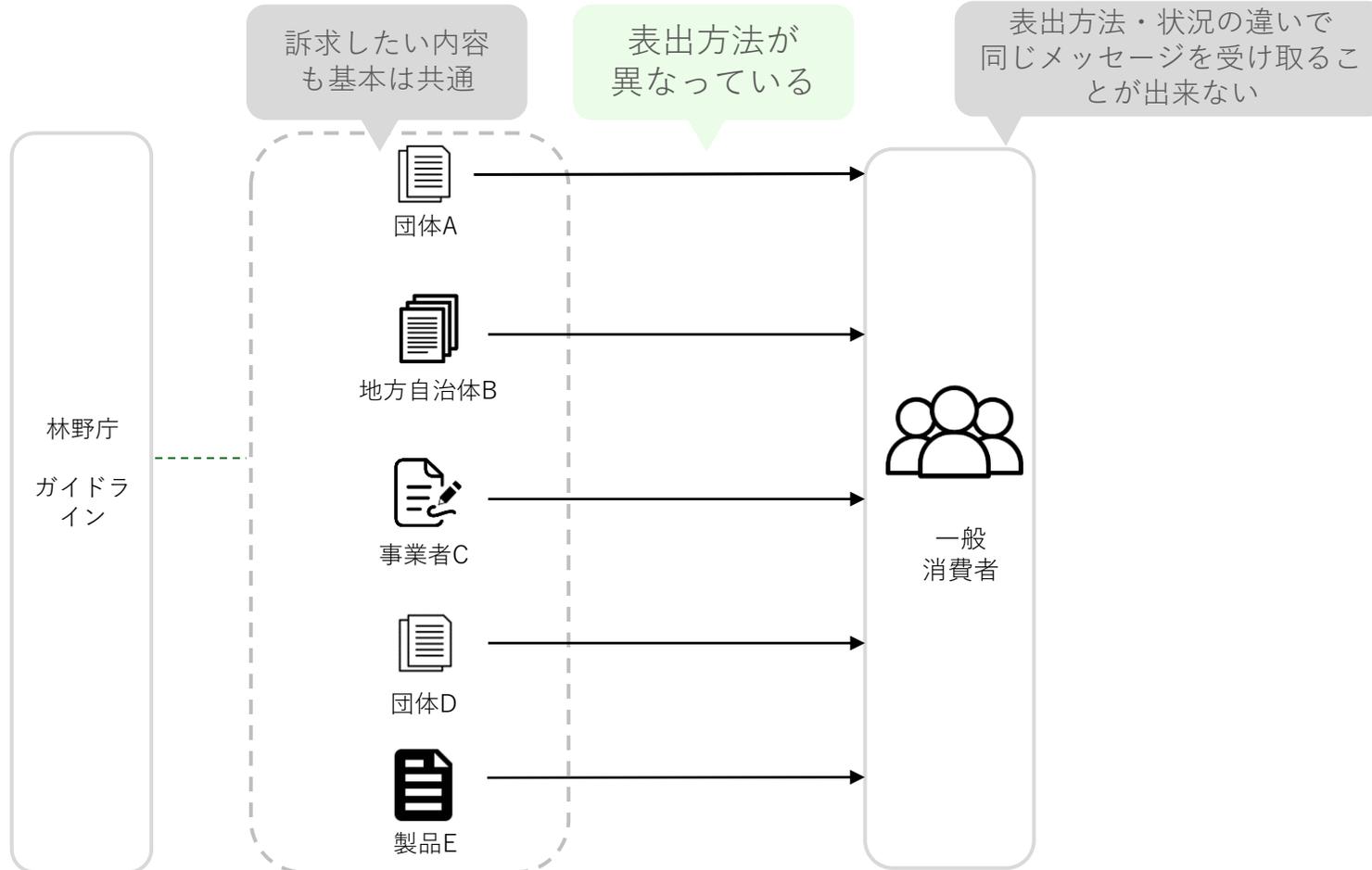
事業者

消費者の目線から見れば
同じものに見えない表出方法
が多く見られる

炭素貯蔵量可視化をとりまく現状

- ・ 林野庁のガイドラインに準拠して算出した**炭素貯蔵量**
- ・ **環境への貢献**

上記二点は共通して訴求したい内容だが、伝わりにくいのでは





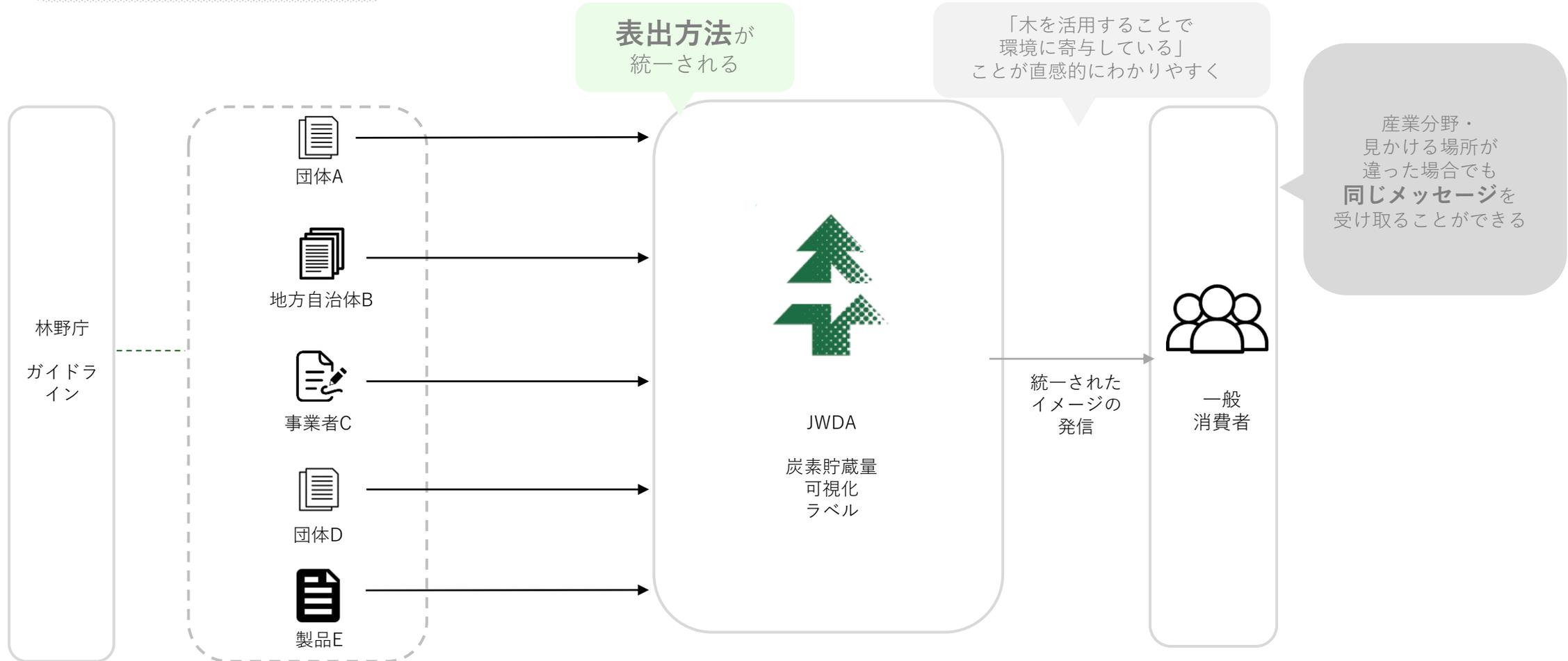
事業者

選択や購入時の消費者に
訴えかけやすい方法が
必要とされる

炭素貯蔵量可視化をとりまく現状

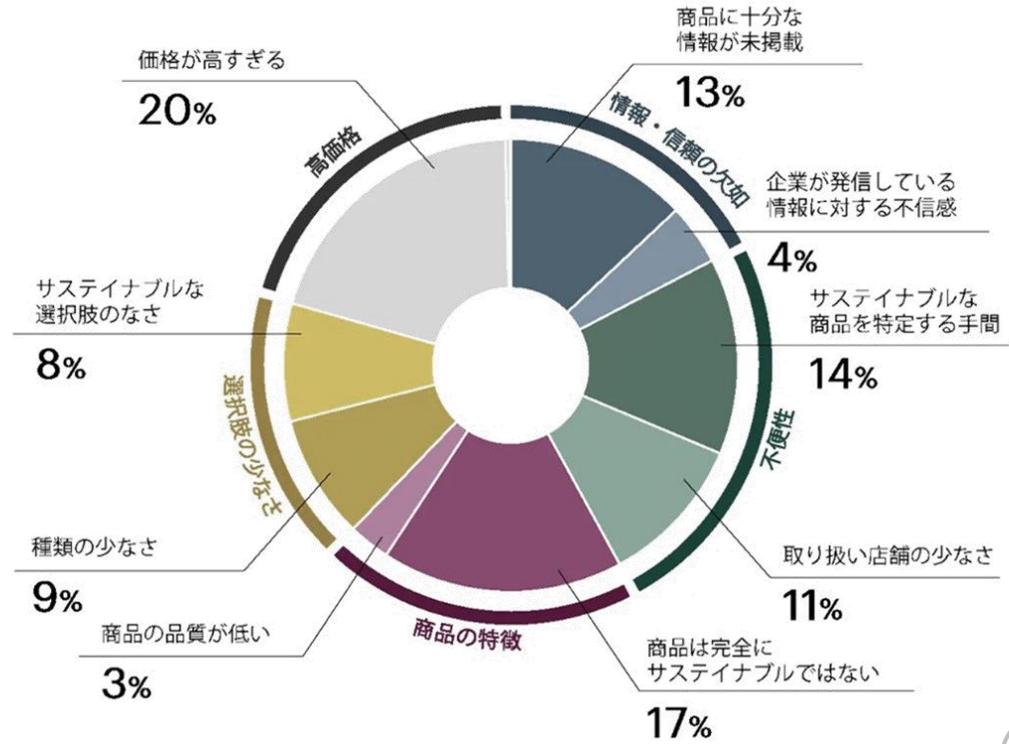
表出方法が統一されることにより

- ・（分野をまたがって）消費者が目にする回数が増える
- ・統一されたイメージからメッセージングが直感的に伝わりやすくなる



図表6: 購入の妨げとなっているのは価格以外の要因も多く存在

質問文:「サステイナブルな商品を購入する際に感じる障壁をすべて選んでください」



出所: ペイン・アンド・カンパニー アジア太平洋ESGに関する消費者意識調査2021 (n=16,624); ペイン・アンド・カンパニー 価値要素に関する消費者意識調査 第1回 (2021年6月, n=8,303) ・第2回 (2022年1月, n=5,034)

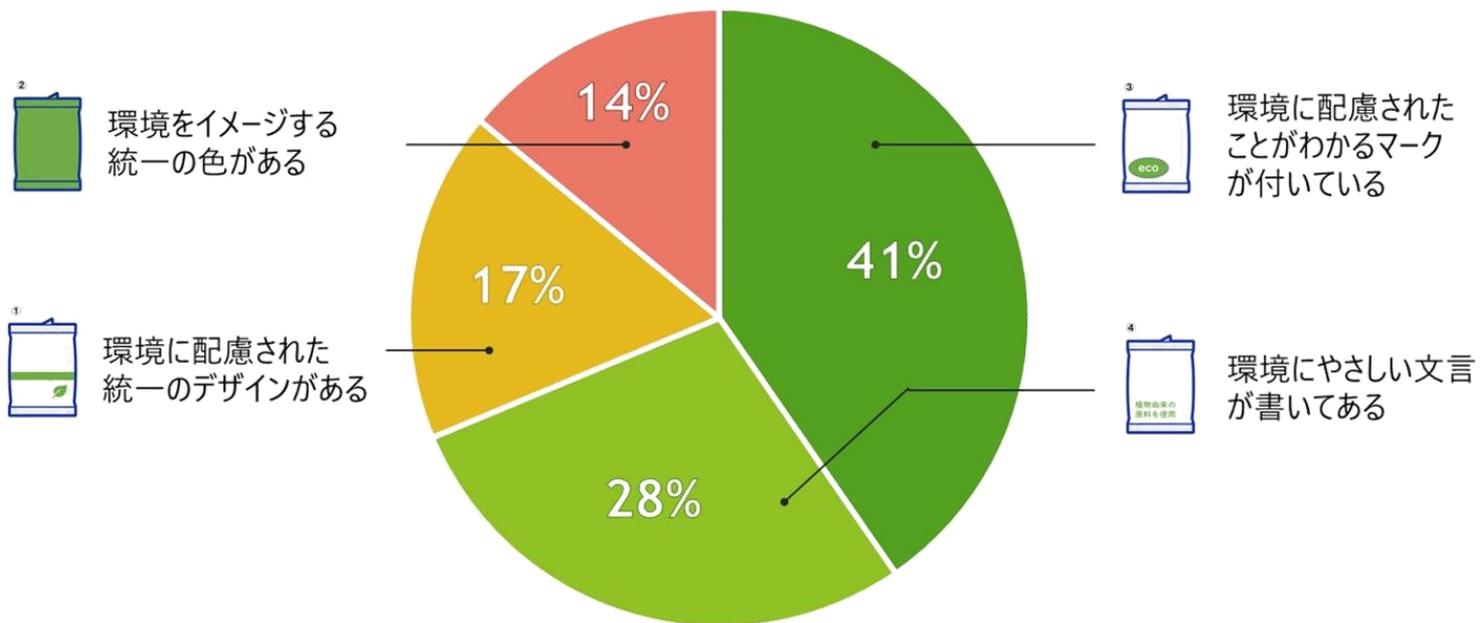
日々の買い物で
社会に貢献している企業の製品や
アイテムを選択したい

でもどれを選べばよいのか
わからない



消費者

一番環境に良いと感じるパッケージ



全体1000人：男女500人ずつ 2023年DNP調べ(楽天インサイト使用)

パッケージや表示が
分かりやすいと良い



消費者



事業者

社会や環境への貢献の
“事業価値化”



JAPAN
WOOD
LABEL



ラベルにより解消

サステナビリティ購買の指針
が必要



消費者

ラベルの客観性を支える二つの基準

林野庁が主管している統一可視化ラベルである、ということに加え、
以下二つの基準に基づく認証として活用していただく予定

「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」 に準拠した炭素貯蔵量

建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の算定シート

<シートの構成>

「1_入力シート」：建築物に使用した木材の情報の入力をするシート

「0_入力例」：「1_入力シート」の入力例があるシート

「99_データベース」：木材の密度の自動表示を行うために必要なデータシート

「2_出力シート」：炭素貯蔵量等の算定結果を表示するシート

「98_比較前提条件」：「2_出力シート」の前提条件を整理したシート

○この入力シートは、「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）で示した、炭素貯蔵量（CO₂換算量）の算定を、必要な情報を入力すると自動的に行えるシートになります。

○この入力シートでは、ガイドラインの参考1「樹種別気乾密度の値の例」、参考2「合板、木質ボードの密度の値の例」で示した及び参考3「建築用資材の炭素含有率に値の例」で示した、数値を算定に使うことを前提としています。

○他の文献等の値を用いる場合は、適宜セルに入力された数式を改変等して利用いただくことが可能です。

○炭素貯蔵量の算出に当たっては、完成した建築物本体に利用されている木材の量を元に算出することとなりますが、当該木材の量については、把握できる段階で事業者等において算出をいただければ構いません。

◆セルの色について、青は必須入力（記述又はプルダウン）、オレンジは任意入力、白は自動計算

No	区分	部材、製品名等	建築物に利用した木材の量 [単位:m]						木材の炭素含有率	建築物に利用した炭素貯蔵量 [単位:t-CO ₂]	産地別の内訳		
			国産材			国産材以外(国産材・国産材以外の区分不明を含む)					合計 [単位:m]	国産材 [単位:t-CO ₂]	国産材以外 [単位:t-CO ₂]
			樹種	利用量 [単位:m]	木材の密度 [単位:t/m]	樹種	利用量 [単位:m]	木材の密度 [単位:t/m]					
1	製材区分(製材・集成材・CLT等)	105mm正角3.65材	スギ	20.0	0.331	ベイマツ	5.0	0.479	25.0	0.500	16.5	12.1	4.4
2	製材区分(製材・集成材・CLT等)	集成材 柱	スギ	10.0	0.331				10.0	0.500	6.1	6.1	
3	製材区分(製材・集成材・CLT等)	フローリング 200m ²	シラカンバ	15.0	0.496				15.0	0.500	13.6	13.6	
4													
5													
6													

プルダウンにない樹種は手動で入力下さい。（全角カタカナ）
タブ「99_データベース」の樹種名を入力すると自動で木材密度が表示されます。

出典：林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/mieruka.html>

Kankyu Consulting Co.,Ltd

林野庁のガイドラインとISO 14021タイプII

ISO 14021タイプII環境ラベル表示（日本ではJIS Q 14021）に準拠した表示であること

要求事項

- **あいまいな表現や環境主張は行わないこと**
- 環境主張の内容に**説明文**を付けること
- 環境主張の検証に必要なデータおよび評価方法が提供可能であること
- 製品または工程における**比較主張**はLCA評価、数値等により適切になされていること
- 評価および検証のための情報にアクセスが可能であること

上記 ISO 14021タイプII環境ラベルは上記の項目に加えて、**原則としてISO14020の項目にも準拠**していることが求められている

国産木材活用住宅ラベル



<https://kokusanmokuzai.jp/index.html>

WOOD DESIGN LIBRARY



<https://www.jwda.or.jp/wood-design-lib/>

JAPAN WOOD LABEL/WOOD CARBON LABEL



<https://www.jwda.or.jp/>

2024 07 29

26th WOOD CHANGE! ODATE
ウェビナーシリーズ



<https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/mokuzai/p9520>

THANK YOU